

令和4年度和歌山市立西和佐小学校スクールプラン

校長 藪本 みゆき

作成日 令和4年4月25日

和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- ・児童自身の自覚をもつようになるため、子供たちに声をかけるときはできるだけフルネームでお願いしたい。
- ・平和を大切に、より良く問題解決する力を育ててください。
- ・スマートフォンの使用について低学年の保護者からの啓発も大切である。

【学校教育目標】

最後までよく考え、共によりよく生き、健やかな心と身体を養う子供の育成
～知育・徳育・体育のバランスの取れた生きる力～

【めざす児童像】

- 1、あきらめずに最後まで自分で考える子供
- 2、まわりの人に優しく、共に尊重し合う子供
- 3、意欲的に生き生きと活動する子供

前年度の学校評価

- ・教育目標に知育が示されていないことに気づかれたことはよかった
- ・コロナ禍の状況でできることを可能な限り実施しているのはよい
- ・過去になかったネット問題に対応していることも評価できる。

児童の実態

- ・体育の好きな児童が多いので、体力向上の推進に繋がっている。
- ・学校が楽しいと感じる児童が多い。
- ・遅刻が当たり前になっている児童がいる。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな学力
- ◎児童主体の授業の推進
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

具体的な取組

- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の徹底を図る
- 「チャレンジタイム」の時間を活用し、基礎学力の定着を図る
- 国語力の強化、1年から6年までの目標を設定し書く力の積み重ねに取り組む
- 保護者の協力のもと家庭学習の定着を図る
- 必ず「朝読」の時間を確保し、読書を習慣づける

指標

- ・全国学力・学習状況調査や県学習到達度調査で正当数の県平均値を目指す
- ・児童がわかる授業、児童主体の授業を実践する(教員90%以上)

豊かな心の育成

- ◎人権・同和教育を推進すると共に人権意識の高揚に努める。
- ◎道徳教育を柱とした教育活動の充実

- 保護者と児童のよさを共有しながら児童を心豊かに育てる。
- 「特別の教科 道徳」で児童が考え話し合う活動を大切にする
- いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険について、保護者と共に学ぶ機会をもつ
- 各行事において児童が主体的に係わる機会をもつ

- ・学校が「楽しい」と感じる(児童90%以上)
- ・「ルールやマナーを守って授業を受けることができた」(児童80%以上)

健やかな体の育成

- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎体力向上の推進
- 危機回避能力の育成
- 人間の体を知る

- 「早寝・早起き・朝ごはん」の推奨
- 体育科の中で活動時間を多く取り入れられるように工夫する
- 晴れの日には運動場で体を動かすように声かけをする
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する
- 「保健」の教科学習や保健行事を行うなかで、自分の体について知る

- ・毎日、朝ごはんを食べてくる(児童95%以上)
- ・体力テストの平均値を県平均値以上を目指す

地域とともにある学校

- ◎地域の教育資源や人材を活用しながら交流活動を行う
- ◎幼・小接続の推進
- ホームページを充実させ情報発信

- 児童の少しでも良い様子を伝え、保護者の子育てや教育に対する意識を高める
- 地域の自然や文化を積極的に活用する
- 地域の方々や関連した方々をゲストティーチャーとして依頼し、地域学習を推進する
- 幼・小連携の充実を図る
- 各種便りやホームページなどを通して積極的に情報を発信する

- ・保護者アンケート「子供の活動の様子をわかりやすく伝えている」(保護者90%以上)
- ・地域への情報発信が行えた(保護者90%以上・地域の方等の声)

◎：特に重点的に取り組むこと